

安全安心な河川や海域へ

環境汚染モニタリング調査結果を公表

平成30年7月の豪雨により、土砂災害及び浸水被害が広範囲で発生し、流出した廃棄物や工場・事業場からの有害物質の漏えいなどに起因する環境汚染が懸念されました。

このため、広島県では、河川や海域などの公共用水域の環境汚染の状況を確認するとともに、その結果を公表することを目的として、平

成30年7月から8月にかけて、緊急に水質調査を実施しました。

たもののは、有害物質の流出はなく、環境への影響はなかつたことを確認しました。

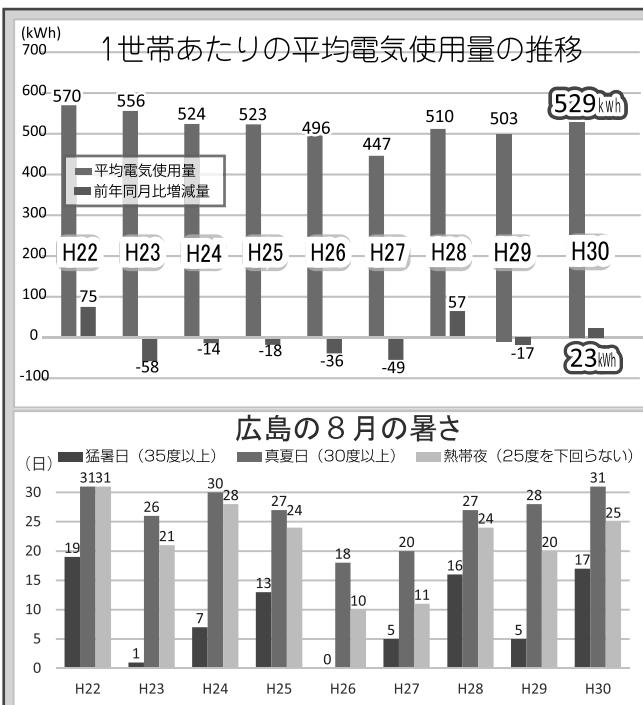
広島県では、これらも今回のような災害時には、迅速かつ的確な対応を実施するともに、住民の方々の安全安心につながる情報を発信していくたいと考えています。

廣島県では河内町（現在・東広島市）・熊野町・大崎町（現在・大崎上島町）で震度6弱、呉市・三原市などで震度5強を観測したほか、関東・東海・中国・四国・九州地方の広い地域で震度5強～1を観測しました（左下図）。

広島県

項目)について調査しました。その結果、健康項目は全ての地点で環境基準に基づく環境基準に適合しており、生活環境項目についても、水質が平常時と大きく変化している地点はなく、問題ありませんでした。調査結果については、結果が判明したものから広島県のホームページ(上図を参照)で順次公表しました。

また、工場・事業場からの有害物質の漏えいによる環境への影響の有無を確認するため、有害物質を使用す



平成22年に比べ省エネ進む

一万人のエコチエック事業報告

平成30年度の「1万人の工」チェック事業は、三千461枚の力

一
ードを報告いただきま
した。そのうち、公衛
協推進委員は、三千
人で、この事業の目的の
達成度は、二千七百人とい
う結果になりました。

広島の8月の暑さ

(日) ■猛暑日（35度以上） ■真夏日（30度以上） ■熱帯夜（25度を下回らない）

日付	猛暑日 (35度以上)	真夏日 (30度以上)	熱帯夜 (25度を下回らない)
H22	19	31	31
H23	26	21	26
H24	7	30	28
H25	13	27	24
H26	0	18	10
H27	5	20	11
H28	16	27	24
H29	5	28	20
H30	17	31	25

23 kWh

の豪雨災害があつた年に次ぐ暑さであったことがわかりました。



40kW以下で、猛暑の割に低い結果から、この事業を進めていく中で推進委員の省エネ意識の向上と、各家庭の電化製品の省エネ性能の向上により、使用量

が下がっているものと
推測されます。
今年の夏の猛暑が心
配されますが、無理な
く、省エネを意識した
行動に引き続きご協力
をお願いします。

2001年(平成13年)
3月24日15時27分、安芸灘を震源とする地震
が発生しました。地震の規模はマグニチュード6.7で、震源の深さは46キロメートルで、沈み込むアフターフェイクともいわれる津波が発生し、伊豆半島沖で高さ約10メートルの津波が発生するなど、甚大な被害をもたらしました。

この地震により西本で死者2人、負傷者288人、住家全壊棟などの被害が生じた。広島県では、面が崩壊したり道路港湾に亀裂が生じたほか、広島市や

1900年(M7.2)
1905年(M7.2)
1905年(M7.2)
1949年(M6.8)
に地震が発生しています。
このように安芸灘
地震は、この「アフク

ポスター・標語コンクール受賞作品の活用 22公衛協でPR活動を実施



表彰状を手に記念撮影する子どもたち
(府中町公衛協)



今津会長から表彰状を受け取る
子ども（廿日市市公衛協）

木は各小学校の校長室で実施した表彰式で入賞した児童に副賞の図書カードとともに手渡し、もう一枚は校内に掲示できるようパネルにして学校へ渡しました。また、2月に発行した『公衛協だより』

協の事業を紹介しまし
たが、このほかにも、
ポスターや標語を使つ
たパネルを作成して、
ミスティー・ションに掲示し
たり、市町の広報や公
衛協だよりに入賞作品
を掲載したり、各公衛

協が工夫をしつづけています。
務めています。

12月に全小学校の入選作品を対象に『くすのきプロザギヤフリ』で展示を行ないました。また、東小学校では、『東小区公衛協環境まつり』で、応募作品の展示と入賞した児童の表彰を行いました。

た。11月に開催の「あいプラザまつり」で健康分野の作品の展示を行いました。来場された受賞者には作品と一緒に記念撮影した写真をプレゼントしました。

多くの来場者に児童・生徒の作品を見てもらつことで、環境・健康づくりについて啓発を行いました。

今年度、「環境と健康のボスター」標語「ンクル事業」には24の公衛協が参加し、22の公衛協で活用事業が実施されました。受賞した作品をはじめとして、作品の多くが地域住民の方々への啓発に役立っています。いち早くレポートをお寄せくださいさた公衛協の活動を紹介します。

に入賞作品を掲載し
町民にPRしました。

みなさん、何か運動をしていますか。なかなか続けられなくて、悩まれている方も多いのではないでしょ
うか。

身体活動には、生活活動と運動があります。週2日以上30分以上の運動が理想ですが、運動ができない場合、毎日の生活活動を維持することが重要です。体を動かす機会は身の回りにたくさんあります。

ます。まず、ご自身の生活全般を振り返ってみましょう。

通勤、外出、買物などの際に、なるべく歩く時間を増すようにしましょう。

歩行と同等以上の強度がある生活活動としては、階段の利用、草むしり、農作業、体を動かして遊ぶ、荷物の運搬などがあります。お仕事中のちゅうとした時間にスクワットや筋トレ、ストレッチをするの

も効果的です。また毎日行う家事も立派な生活活動です。

家事だけでもかなりのエネルギーを消費します。例えば、15分の活動により、皿洗いは約27キロカロ、料理やは



に、な
灌、洗車は約30キロカ
植物への水やりは約40キロカ
ロ、掃除機がけは約50キロカ
ロ、風呂掃除や床の拭き掃除は約50キロカ
ロを消費します。

普段は家事をしない
という男性のみなさ
よ。

1日当たりの身体活動
は、18～64歳は歩行
またはそれと同等以上
の強度を60分、65歳以
上は強度を問わず40分

健 康 維 持 !

が目安となります。
「プラス10」、今より
10分余分に動くことで
生活習慣病やがんのリ
スクを3～4%減らせる
ことがわかっています。
さらに、免疫力の
強化やリラックス効果も
期待できます。

さあ、生活習慣を自
由にして、少しでも活動
量をアップし、健康的な
日々をお過ごしくださ
い。

**抗体検査等の無償化始まる
30代から50代の男性は抗体保有率低**



② 風しん抗体検査

抗体検査は、職場の健康診断や人間ドック、特定健診の際に受けることができます。検診で採血した血液を用いて検査ができますので、身体的な負担も少なくなっています。抗体検査を

受けることで、自身の抗体価(免疫力)を知ることができ、風しんワクチンの予防接種を受ける必要の有無が判断できます。

健康クリニックでは、従来からオプション検査として抗体検査を実施しています。さらに今春からは、国の制度を利用できる休制とする予定です。

職場や地域、社会全体で予防に取り組み、先天性の障害を有する子どもの発生を防ぐためにも、国の制度などを活用して健康診断と併せて抗体検査も受けたいだすことをお勧めします。

詳しくは、健康クリニックにお問合せください。

(健康科学七、八一事業推進課)

【図】 年代別及び性別の抗体保有率

(一) 未付抗体保有率 ～2012年3月時点

()内は抗体保有率 ※2019年2月時点					
性別	1回個別接種 (88.4%)	2回個別接種 (95.4%)	幼児期に 1回個別接種 (90.4%)	中学生の時に 1回個別接種 (89.9%)	1回も接種 していない (79.6%)
女性	1回個別接種 (89.7%)	2回個別接種 (96.5%)	幼児期に 1回個別接種 (94.5%)	中学生の時に 1回個別接種 (96.6%)	中学生の時に 1回集団接種 (96.7%)
	1歳	20歳	30歳	40歳	50歳
	小学校入学	1990年4月2日生 (28歳)		1979年4月2日生 (50歳)	1962年4月2日生 (57歳)

出展：国からの追加対策について（厚生労働省）

